

今日のトピック 原油価格の動向 (2017年9月) 引き続き生産枠の遵守が求められるOPEC

ポイント1 OPEC生産量は前月比減少 OPEC生産枠は依然として超過

- 石油輸出国機構 (OPEC) 月報の2017年9月号によれば、8月のOPEC原油生産量は日量3,276万バレルとなりました。
- OPEC生産量は、17年5月まで、16年11月開催のOPEC総会で合意に達した生産枠内にありましたが、6月以降は上限を超えています。内戦の影響等を考慮され、減産を免除されているリビア、ナイジェリアの増産に加え、イスラム国との戦費調達のためイラクが上限を超える生産を続けたためです。

ポイント2 17年は需給均衡に向かおう 求められるOPEC生産枠の遵守

- 一方、原油の需要は、世界的な景気拡大を背景に堅調に推移しています。国際エネルギー機関 (IEA) によれば、17年の原油需要は世界全体で日量9,763万バレル、前年比同151万バレルの増加となる見通しです。
- 非OPEC諸国の供給量が同70万バレル増の同5,814万バレル程度と予測されるため、OPECが生産枠を遵守すれば、今後原油需給は均衡に向かう見通しです。

今後の展開 原油価格はレンジ内での推移へ

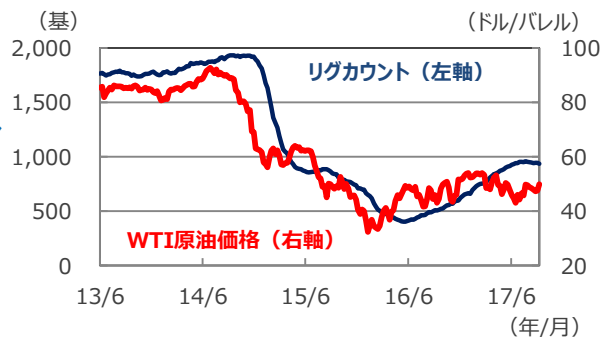
- 一方、原油価格が上昇すれば、それに4カ月ほど遅れてリグの稼働基数が増える傾向があり、これが原油価格の上値を抑える公算があります。以上から判断すると、原油価格は当面のところ、1バレル当たり40~50ドル程度で推移する見通しです。なお、9月上旬に米南東部を襲ったハリケーンの影響は、いまのところ限定的なものにとどまっているようです。

【OPEC加盟国の原油生産枠と生産実績】

国名	生産枠	生産 (2017年)			
		1-3月	4-6月	7月	8月
サウジアラビア	1,006	988	995	1,003	1,002
イラク	435	445	445	447	445
イラン	380	380	379	383	383
UAE	287	294	291	292	290
クウェート	271	271	271	270	270
ベネズエラ	197	200	196	195	192
アンゴラ	167	163	165	164	165
アルジェリア	104	105	106	106	107
カタール	62	63	61	61	62
エクアドル	52	53	53	54	54
ガボン	19	20	20	21	17
リビア	-	66	71	100	89
ナイジェリア	-	151	162	172	186
赤道ギニア	-	15	14	15	15
OPEC総計	3,250	3,213	3,230	3,283	3,276

- (注1) 単位は万バレル/日量。リビアとナイジェリアは生産枠の設定を免除されています。
- (注2) 赤道ギニアは2017年5月の総会で加盟が承認されました。そのため、現在のところ生産枠の設定はありません。
- (注3) 四捨五入の関係で各国生産量および生産枠の合計はOPEC総計と必ずしも一致しません。
- (出所) OPEC月報2017年9月号等を基に三井住友アセットマネジメント作成

【原油価格と北米のリグ稼働基数】



- (注) データは原油価格が2013年6月7日~2017年9月18日。リグ稼働基数が2013年6月7日~2017年9月15日。ともに、週次データ。WTIは原油価格の代表的な指標のひとつ。
- (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年8月16日 原油価格の動向 (2017年8月) 2017年7月24日 原油価格の動向 (2017年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。